

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
ソーシャルワーク演習 (専門) c			選択	2	3	後期	
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
間嶋 健		B312	ken.majima		水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>ソーシャルワークの価値・知識・技術、および倫理に基づいた相談援助の実践力を、演習を通して具体的な課題に能動的に取り組みソーシャルワークの展開過程を理解し、習得することを目的とする。地域特性を適切に把握し、メゾミクロマクロでのソーシャルワーク視点を得る。</p> <p><概要>教科書や資料を使用して、グループワーク、ロールプレイ、ディスカッション等を行い、相談援助の実践の体験をして感じたこと、考えたことを言語化、文章化し、発表することを通じて、ソーシャルワークの展開過程を理解し、実践する能力を習得できるように授業を進める。</p>						
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク		
学習上の助言	本講ではソーシャルワークの価値を身につけるための援助技術を習得する目的から、その基盤となるソーシャルワークのグローバル定義、ソーシャルワークの定義 (ソーシャルワーカー連盟)、パイステックの 7 原則などを復習しておくことが望ましい。						
教科書	最新 社会福祉士養成講座7 ソーシャルワーク演習 [社会専門] /編: 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版						
参考書	なし						
外部教材	なし						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針			
①	ケースワーク、グループワーク、コミュニティワークの支援技術を習得できる。			HSU(3)、(4)、WP(1)、(2)			
②	事例を通じて基礎基盤となる価値・知識・技術・原則を学ぶことができる。			HSU(1)、(2)、WP(1)、(2)、(6)			
③	支援の開始から終結の相談援助プロセスを理解し、多職種連携の必要性を身につける。			HSU(2)、(3)、(4)、WP(1)、(2)、(6)			
授 業 計 画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)				
1	オリエンテーション (本科目の意義、受講時の約束、講義の進め方、成績評価他) を行う。演習・グループワークの効果的学習方法について説明を行う。	講義	シラバスを精読してくる。		4		
2	地域福祉に係る事例検討 (1) 地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
3	地域福祉に係る事例検討 (2) 地域アセスメント①について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
4	地域福祉に係る事例検討 (3) 地域アセスメント②について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
5	地域福祉に係る事例検討 (4) 地域アセスメント③について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
6	地域福祉に係る事例検討 (5) 地域福祉計画①について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
7	地域福祉に係る事例検討 (6) 地域福祉計画②について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
8	地域福祉に係る事例検討 (7) 地域福祉計画③について学ぶ。	演習 ディスカッション	教科書の該当章を精読する。		4		
9	地域福祉に係る事例検討 (8) 組織化①について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
10	地域福祉に係る事例検討 (9) 組織化②について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
11	地域福祉に係る事例検討 (10) 社会資源の活用・調整・開発①について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
12	地域福祉に係る事例検討 (11) 社会資源の活用・調整・開発②について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
13	地域福祉に係る事例検討 (12) サービスの評価①について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
14	地域福祉に係る事例検討 (13) サービスの評価②について学ぶ。	演習 グループワーク	教科書の該当章を精読する。		4		
15	地域福祉に係る事例検討 (14) サービスの評価③について学ぶ。	演習 ディスカッション	教科書の該当章を精読する。		4		
試							

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	50	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	5	5
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	10	20
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループワークにおいて成果発表を実施するが、発表者のみならず他のメンバーにおいてもそれぞれのグループ内での役割を自覚し、グループワークの進捗に積極的に参加できているかを総合的に評価する。	成果発表後に、どのような理解をしたのか教員から他のメンバーにも質問をする。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。 課題への取組み状況やグループワークへの参加姿勢などを評価する。	質問については、授業にて共有する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 20 年の実践経験を有する。						
実践的授業の内容	教科書とシラバスに沿って、教員が実践してきた事例（個人、団体等の特定ができないよう加工）を用いたりして、ソーシャルワークの基本及び展開過程について、分かりやすく説明をすることで、学生が科目内容について具体的なイメージをもって理解が深まるように工夫をして授業を進める。						
そ の 他	<p>【履修についての条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルワーク演習」を履修し、単位を取得していること。 ・社会福祉士国家試験受験希望者は必ず履修すること。 <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって、再度シラバスの変更が行われることがある。 						